

A1200S12

取扱説明書

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、必要なときに読めるようにこの取扱説明書は大切に保管してください。

●用途

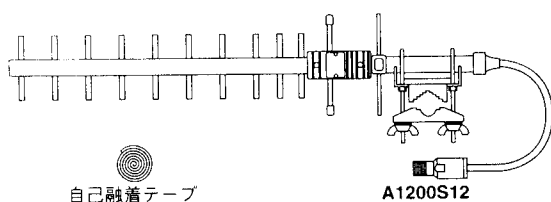
このアンテナはアマチュア無線通信用1200MHz帯指向性アンテナです。固定局や移動運用に使用できます。自動車にこのアンテナを付けて走行することはできません。使用する人はアマチュア無線の免許が必要です。

●特長

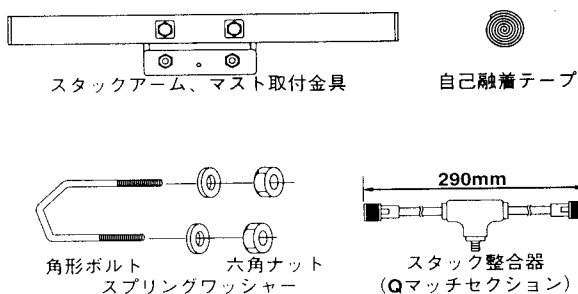
1. 低損失のスリーブ形バラン、同軸ケーブル(8D-2V)さらにN形コネクタの採用により、高能率、高性能を実現。
2. 高品質樹脂充填により、給電部を雨、塩害、大気汚染より保護。
3. マストへの取り付け、取りはずしが簡単で、しかも軽量設計。
4. 八木式アンテナの理想を追求した構造の新型ターミナルを採用。
5. オプションのスタックキットを使うことで2列スタックにグレードアップが可能。

●部品の確認

A1200S12



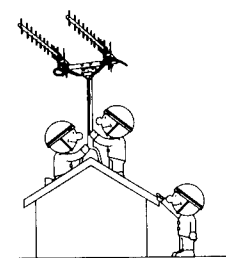
SKT1200 (オプション)



DIAMOND
ANTENNA

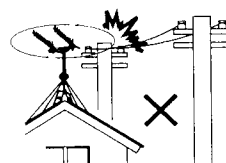
⚠ アンテナ建設上の注意

- ◆ 雨の日や風の強い日など悪天候での設置は危険です。のでやめてください。
- ◆ 屋根の上での作業は複数の人で、安全を確保してから行ってください。
- ◆ アンテナ設置のとき、アンテナや付属部品、工具などを落下させないようにしてください。あらかじめ組み立てられるものは地上で組み立ててから上げるようにしてください。



⚠ アンテナ設置場所の注意

- ◆ アンテナを最良の状態で使用するため、できるだけアンテナは周囲に電線など障害物のないところへ建ててください。建物に近すぎるとアンテナの性能が発揮できません。
- ◆ アンテナは人が容易に触れることのできないところへ建ててください。
- ◆ アンテナをローテーターなどで回転される場合は、回転半径に障害物がないことを確認してください。電線に触れたりするととても危険です。
- ◆ アンテナは強風でも倒れないように強固に取り付け、もしアンテナが倒れても人や建物に危害をあたえない安全な場所に設置してください。



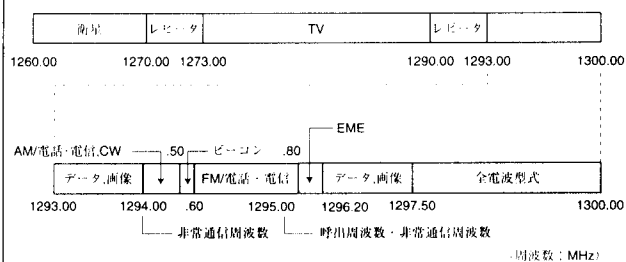
電波を出す前に

- ◆ アンテナが正常に動作しているかSWR計などで確認した上で電波を発射してください。通常VSWRが1.5以下であれば問題ありません。VSWRが高いときは電波の発射をただちに止めアンテナ各部と同軸ケーブルの導通を確認してください。周囲に高い建物や障害物がある場合、また地上からの高さが低すぎる場合もVSWRが高くなる場合があります。

用語説明: SWR計とはトランシーバーからアンテナに送り込まれた送信出力がどのくらい

の効率で空間に発射されているかをチェックする測定器です。当社のSWR計を同軸ケーブルの途中に挿入すれば、送信電力(進行波)と空間に発射されずにムダになってしまう電力(反射波)、さらにそれらの比(VSWR)を測定することができます。

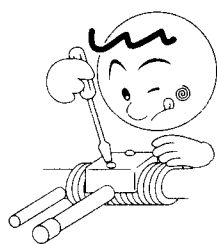
◆郵政省告示のバンドプランをよく守って、決められた範囲で電波を発射してください。くれぐれもオフバンド(決められた周波数帯から逸脱すること)はしないでください。



郵政省告示バンドプラン

給電ターミナルは絶対にあけない

給電ターミナルは調整済みです。絶対に中を開けたりしないでください。また、スタック整合器(Qマッチセクション)に使用しているネジ類は回転させたり、はずしたりすると動作不良や破損の原因となりますので絶対にはずさないでください。

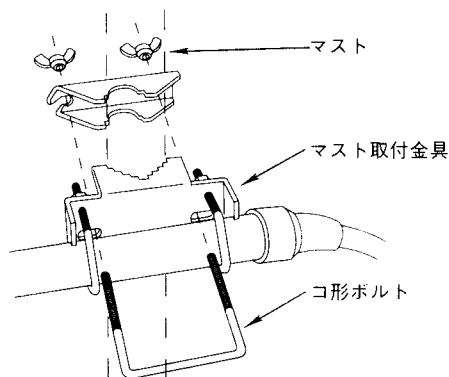


●組立方法

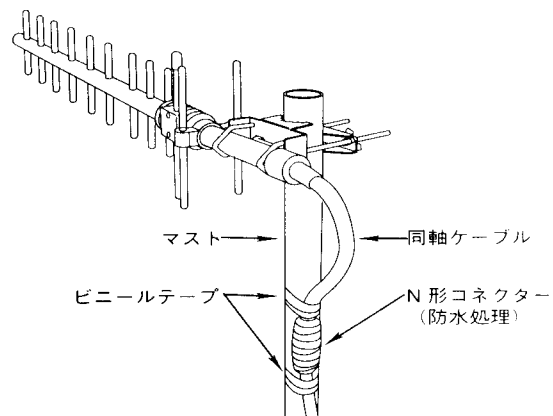
ナットは工具でしっかり固定する

[シングルの組立方法]

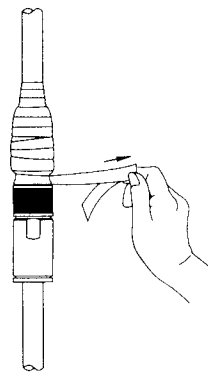
1. コ形ボルトを図のように差し込み、マストへ取付けます。押え金具を蝶ナットでしっかりと固定します。



2. 同軸ケーブルを接続して図のようになめらかに曲げ、マストに固定します。



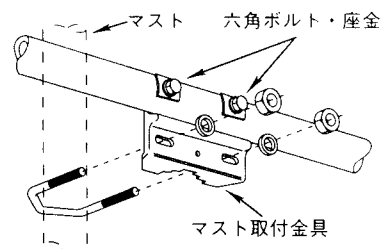
N形コネクターで接続するので間違えないようにしてください。防水のため自己融着テープを巻いてください。図のように自己融着テープの長さが元の長さの1.5倍になるよう引っ張りながら巻き付けます。さらにその上からビニールテープで巻くとよいでしょう。



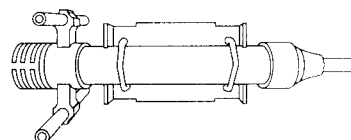
[2列スタックの組立方法]

SKT1200 スタックパーツ(別売)と2本のアンテナが必要です。

1. マスト取付け金具を図のように取付けます。



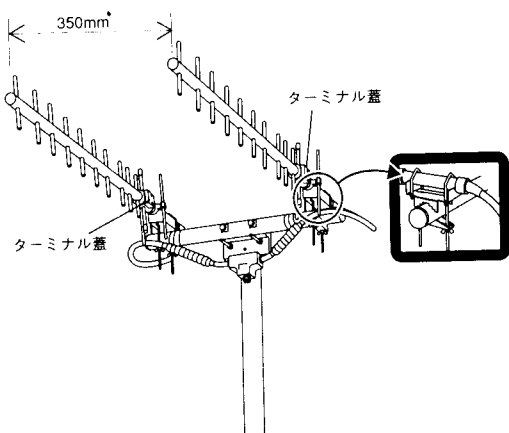
2. ケースから取り出した状態のアンテナのマスト取付け金具の角形ボルトのナットをゆるめ後ろ向きから見て左に90度回転し、ゆるめたナットを締めなおして固定してください。



3. スタックブームの取付け位置はシールで表示してあります。

取付け位置シール上にアンテナを取付けます。

4. ケーブルをマストにビニールテープで確実にとめてください。



確認!

2本のアンテナのターミナル蓋は同じ方向に向くよう、取付けてください。

●調整方法

このアンテナはアマチュア無線で使われる1200MHz帯をカバーしています。無調整のままお使いいただけます。

⚠ 注意 送信中はアンテナにさわらない

感電や火傷をすることがあるので、送信中はアンテナに絶対手を触れないようにしてください。とくに移動運用などではお子さんが手を触れて火傷をする可能性がありますので、くれぐれも注意してください。

⚠ 注意 雷が発生したらただちに発射を中止

雷が発生したらアンテナやケーブルには絶対触らないでください。外出時など使わないときは、機器から同軸ケーブルをはずしておいてください。

異常があればただちに発射を中止

VSWRが高いまま送信し続けるとトランシーバーなどの機器を破損するおそれがあります。ただちに電波の発射をやめ、次の事項を確認してください。どうしても改善されない場合は、販売店または弊社までご相談ください。

◆症状:受信がよくない、電波の飛びがよくない

チェック1) 建物に接近してアンテナを設置していませんか?
近くに建物があるとVSWRが悪化し、指向特性が乱れます。できるだけ建物から離してください。

チェック2) アンテナの組立に間違いがないですか?
組立方法を再度読み、間違っていないか点検してください。

チェック3) 同軸ケーブルに異常はないですか?
コネクター部のハンダ付け不良や断線していないか、テスターで点検してください。

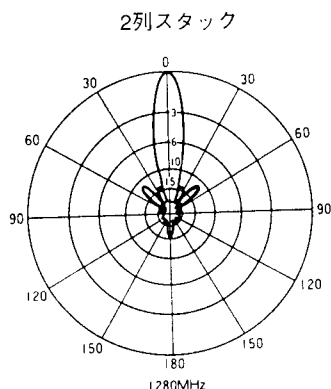
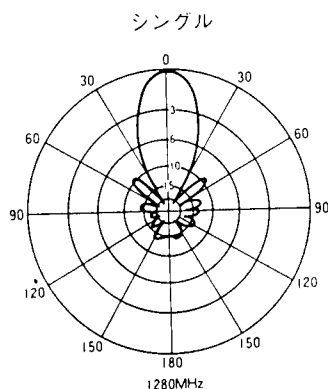
●送信空中線の型式

アマチュア局の免許申請書類の空中線型式は「八木型」と記載してください。

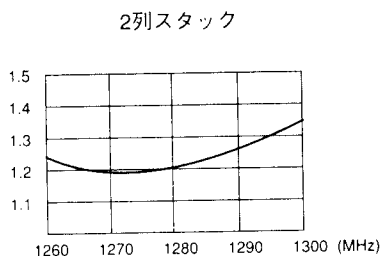
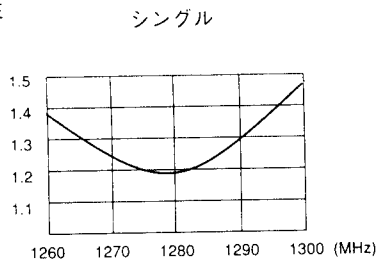
●規 格(特性値は垂直偏波水平面における値です)

項 目	シングル	2列スタック
使用周波数(MHz)	1260～1300	
入力インピーダンス(Ω)	50	
VSWR(定在波比)	1.5以下	1.4以下
利 得 (d B i)	14.1	17.1
F B 比 (d B)	14以上	15以上
電力半値幅(度)	38以下	16以下
最大入力電力(W)	50	
スタック間隔(mm)	—	350
入 力 端 子	N形コネクター(N-J)	
適合マスト径(mm)	φ25～φ47	φ32～φ62
耐風速(m/s)	45	
受風面積(m)	0.03	0.08
回転半径(mm)	666	770
寸 法 (m m)	140×149×735	185×440×735
重 量 (k g)	0.6	2.2

●指向特性(水平面)



●VSWR特性



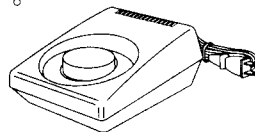
※ブームに貼ってある注意シールをはがさないでください。

 注意 CAUTION	送信中はアンテナに触れないでください。電線近くでの作業は危険です。 Do not touch or get close to the antenna while transmitting! Do not install or adjust the antenna near power lines!
--------------------------	---

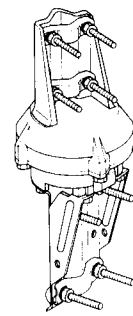
A1200S12に使えるアンテナローテーター

RT200 ¥18,000(税別)

マストやルーフタワーに取付けられるローテーターです。ご購入の前に、マスト径や取付位置の寸法を確認してください。



コントロールユニット



ドライブユニット

- お買い上げいただいた製品は厳重な品質管理のもとに生産されていますが、万一運搬中の事故などによる破損がありましたら販売店にお申し付けください。
- アンテナの仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- このアンテナの用途外、正常に動作していない状態のアンテナを使用して発生するトラブルについては責任を負いかねますので取扱説明書の各注意次項を守ってください。

1995年7月 初版発行

© 1995 第一電波工業株式会社
Printed in Japan